



カスミサンショウウオとアズマヒキガエルの卵塊

名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物

レッドデータブック
なごや2015

動物編

名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物

レッドデータブックなごや 2015

動物編

2015年4月

名古屋市

【 表紙写真 】

表：カスミサンショウウオとアズマヒキガエル（卵塊）（両生類）

千種区

（撮影 藤谷武史）

裏：カコウコモリグモ（クモ類）

港区稲永（庄内川河口） 2007年5月18日 （撮影 緒方清人）

・表紙写真の解説

尾を振りメスを誘引しているカスミサンショウウオのオスと、アズマヒキガエルの卵塊。

両者が繁殖地として湿地を共有することは普通ですが、近年、名古屋市内の湿地では、個体の減少や環境の悪化が原因で両者が同じ場所で繁殖する光景が失われつつあります。

・修正について

平成 27 年 4 月 30 日に「レッドデータブックなごや 2015」を公表していますが、この冊子では字句等を一部修正しています。また、シロスジグモ（367 頁）は内容を差替えています。



発刊にあたって

名古屋市には、北西部の平野や、中央部の台地、東部の丘陵地など、それぞれの地域ごとに特色のある自然が残されており、そこには多様な野生生物が「互いにつながりあい」そして「バランスをとりながら」暮らしています。

しかし、長い間の人間の営みに伴う自然環境の変化などにより、以前は身近に見られた野生生物の中には、その数を減らし、絶滅のおそれが生じているものがあります。

昨年11月、名古屋で「持続可能な開発のための教育（E S D）に関するユネスコ世界会議」が開催されました。E S Dは、環境・経済・社会が調和した持続可能な社会を作るための「人づくり」を推進することを意味しています。

私たちは、環境・貧困・人権・平和・食料などさまざまな課題を抱えています。今生きている自分たちだけでなく、未来の子どもたちも安心して暮らせるまちの実現を目指し、この名古屋の豊かな自然環境や生きものを守り、次の世代に持続可能な形で引き継いでいくことは、私たちに課せられた責務でもあります。

名古屋市では、市内の野生生物の生息・生育状況について定期的に調査を行っています。平成16年(2004年)には、絶滅のおそれのある野生生物の分布状況や減少の要因などについてとりまとめた「レッドデータブックなごや2004」を発行し、平成22年(2010年)には補遺版を追加発行しました。そしてこのたび、最新の情報を反映させた改訂版として「レッドデータブックなごや2015」を作成しました。

本書を通してより多くの皆さまに名古屋の残された自然環境への理解を深めていただくとともに、多様な野生生物を守る身近な取組の輪を広げていくための一助となることを願っています。

本書の作成にあたり、ご協力、ご尽力いただきました名古屋市動植物実態調査検討会をはじめとする多くの関係者の皆さまに、厚くお礼申し上げます。

平成27年4月

名古屋市長 河村たかし

【 目 次 】

1. レッドデータブック作成の経緯及び目的	1
2. 調査の概要	3
(1) 調査体制	3
(2) 調査対象	4
(3) 調査方法	6
(4) レッドリストのカテゴリーと判定基準	8
3. 名古屋市版レッドリスト	11
4. 名古屋市の野生生物の現状	27
哺乳類	27
① 名古屋市における哺乳類の概況	27
② 名古屋市における絶滅危惧種の概況	29
③ レッドリスト掲載種の解説	31
凡例	31
絶滅 (EX)	32
絶滅危惧ⅠA類 (CR)	34
絶滅危惧ⅠB類 (EN)	45
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	47
準絶滅危惧 (NT)	49
情報不足 (DD)	51
鳥 類	55
① 名古屋市における鳥類の概況	55
② 名古屋市における絶滅危惧種の概況	59
③ レッドリスト掲載種の解説	60
凡例	60
絶滅危惧ⅠA類 (CR)	62
絶滅危惧ⅠB類 (EN)	64
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	71
準絶滅危惧 (NT)	86
情報不足 (DD)	107
は虫類	111
① 名古屋市におけるは虫類の概況	111
② 名古屋市における絶滅危惧種の概況	112
③ 参考文献	114
④ レッドリスト掲載種の解説	116
凡例	116
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)	117
準絶滅危惧 (NT)	121

情報不足 (DD)	122
両生類	125
① 名古屋市における両生類の概況	125
② 名古屋市における絶滅危惧種の概況	125
③ レッドリスト掲載種の解説	127
凡例	127
絶滅危惧 I A 類 (CR)	128
絶滅危惧 I B 類 (EN)	132
絶滅危惧 II 類 (VU)	134
魚 類	137
① 名古屋市における水域環境および魚類の概況	137
② 名古屋市における絶滅危惧種の概況	137
③ レッドリスト掲載種の解説	140
凡例	140
絶滅危惧 I A 類 (CR)	141
絶滅危惧 I B 類 (EN)	149
絶滅危惧 II 類 (VU)	157
準絶滅危惧 (NT)	163
情報不足 (DD)	167
昆虫類	173
① 名古屋市における昆虫類の概況	173
② 名古屋市における絶滅危惧種の概況	176
③ レッドリスト掲載種の解説	177
凡例	177
絶滅 (EX)	178
絶滅危惧 I A 類 (CR)	197
絶滅危惧 I B 類 (EN)	213
絶滅危惧 II 類 (VU)	239
準絶滅危惧 (NT)	263
情報不足 (DD)	315
クモ類	335
① 名古屋市におけるクモ類の概況	335
② 名古屋市における絶滅危惧種の概況	336
③ レッドリスト掲載種の解説	338
凡例	338
絶滅危惧 I A 類 (CR)	339
絶滅危惧 I B 類 (EN)	345
絶滅危惧 II 類 (VU)	348
準絶滅危惧 (NT)	357

情報不足 (DD)	365
カニ類	369
① 名古屋市におけるカニ類の概況	369
② 名古屋市における絶滅危惧種の概況	370
③ レッドリスト掲載種の解説	371
凡例	371
絶滅危惧 I B 類 (EN)	372
絶滅危惧 II 類 (VU)	374
準絶滅危惧 (NT)	378
貝類	383
① 名古屋市における貝類の概況	383
② 名古屋市における絶滅危惧種の概況	384
③ レッドリスト掲載種の解説	386
凡例	386
絶滅 (EX)	387
絶滅危惧 I A 類 (CR)	391
絶滅危惧 I B 類 (EN)	418
絶滅危惧 II 類 (VU)	426
準絶滅危惧 (NT)	435
情報不足 (DD)	467
【資料編】	471
1. 名古屋市の自然地理の概況	472
2. 名古屋市版レッドリストから削除された種	473
3. レッドデータブックなごや2015 動物編に関するQ&A	474
4. 文献一覧	475
5. 執筆者及び協力者	488
【索引】	491
索引 (和名五十音順)	492
(1) 哺乳類	492
(2) 鳥類	492
(3) は虫類	493
(4) 両生類	493
(5) 魚類	493
(6) 昆虫類	494
(7) クモ類	496
(8) カニ類	496
(9) 貝類	496
索引 (分類順)	498
(1) 哺乳類	498

(2) 鳥 類	-----	498
(3) は虫類	-----	499
(4) 両生類	-----	499
(5) 魚 類	-----	499
(6) 昆虫類	-----	500
(7) クモ類	-----	502
(8) カニ類	-----	502
(9) 貝 類	-----	503

1. レッドデータブック作成の経緯及び目的

我が国は、昭和40年代に高度経済成長期を迎えて第2次産業が大きく発展し、人口は都市部に集中し、道路や鉄道の整備、住宅団地の建設等が盛んに行われるようになった。それとともに自然生態系が圧迫され、野生生物の生息・生育環境が改変されたり減少したりして、絶滅する種も生じるようになった。

このような現象に対応するため、国レベルで野生生物の絶滅のおそれのある種について調査が行われ、平成元年に(財)世界自然保護基金日本委員会と(財)日本自然保護協会が「我が国における保護上重要な植物種の現状」を、平成3年に環境庁(現環境省)が「日本の絶滅のおそれのある野生生物-脊椎動物編」及び「同-無脊椎動物編」を発行した。その後、平成6年に国際自然保護連合(IUCN)がより定量的な評価基準に基づく新たなカテゴリーを採択したことから、環境庁は平成12年以降、順次改訂版レッドデータブックを発行してきた。平成18、19年度には第3次レッドリストが、平成24年度には第4次レッドリストが公表されており、平成26年度からは順次レッドデータブックが出版されている。

国レベルでの情報の整備を受けて、各都道府県でも、その地域で絶滅が危惧される生物に関する情報の収集整理がなされ、地域版のレッドリストやレッドデータブックが作成されている。愛知県でも、第一次レッドリストの公表を経て、平成13年度にレッドデータブックがとりまとめられた。その後、第二次レッドリストの公表を経て、平成20年度には「レッドデータブックあいち2009植物編」及び「同動物編」が、平成26年度には「第三次レッドリスト レッドリストあいち2015」が公表されている。

名古屋市では、昭和54年から名古屋市環境影響評価指導要綱(平成11年から名古屋市環境影響評価条例に移行)を施行し、環境影響評価の手続きを円滑に進めるため、市内に生息・生育している動植物について調査を実施した。昭和55年に「名古屋市及び近隣に生息する動物に関する調査報告」と「名古屋市の植生自然度及び自然保護に関する調査報告」を、平成5年にその改訂版を作成している。

平成12年度からは、市内における動植物の生息・生育実態調査を実施し、平成14年11月に名古屋市版レッドリストを公表した。そして平成16年3月、名古屋市版レッドリストに掲載された種の分布の概要、生息地の環境、減少の要因などを個別に記述した「レッドデータブックなごや2004植物編」及び「同動物編」を発行した。

その後、全国的に野生生物の減少や生態系への影響が指摘されていること、野生生物の生息・生育環境に影響を及ぼす土地の改変などの様々な状況が変化していることなどから、平成20年度から生物調査を行い、平成22年3月に「名古屋市版レッドリスト2010」を公表、平成22年10月に「レッドデータブックなごや2010 -2004年版補遺-」を発行した。なお、このレッドリストから新たにカニ類や潮下帯の貝類が評価対象に追加された。

これらの見直しに続き、平成24~26年度の3ヶ年、専門家で構成する「名古屋市動植物実態調査検討会」を中心に、前回見直し後の生息・生育状況や生息・生育環境の変化等の最新の知見を収集し、検討を行うとともに、市民から意見を募集した。

そして平成27年3月に「名古屋市版レッドリスト2015」を公表し、この度「レッドデータブックなごや2015植物編」及び「同動物編」を公表するものである。なお、今回から新たにコケ

植物が評価対象に追加された。

レッドリスト・レッドデータブックへの掲載は、捕獲規制等の直接的な法的効果を伴うものではないが、絶滅のおそれのある野生生物に関する理解を深めていただく基礎資料であり、各種開発事業の環境影響評価などに活用されることによって、野生動植物への配慮が適切になされることを目的としたものである。

なお、全国版レッドデータブック掲載種の中で特に保護の優先度が高い生物種は、「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法）」に基づく国内希少野生動植物種に指定され、保護が図られている。また、愛知県内に生息・生育する絶滅のおそれのある種で、特に保護を図る必要がある動植物は「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」に基づき、指定希少野生動植物種に指定されている。その他、国、あるいは各地方で文化財として重要な動植物は、「文化財保護法」等に基づく天然記念物に指定され、保護が図られている。

2. 調査の概要

(1) 調査体制

調査の実施に当たっては、平成24年度から野生動植物に関する専門の学識者を中心とした「名古屋市動植物実態調査検討会」において、調査対象動植物についての調査内容、評価等について検討を行った。

委員は担当分類群について協力者と連絡をとりながら情報を収集するとともに、検討会において調査・作業状況を報告し、意見交換を行った。

表1 名古屋市動植物実態調査検討会 委員名簿

担当分類群	委 員
維管束植物	せりざわ しゅんすけ 芹沢 俊介 (愛知教育大学名誉教授)
	とりい ちえこ 鳥居 ちゑ子 (愛知植物の会会員)
コケ植物	なりた つとむ 成田 務 (新城市鳳来寺山自然科学博物館学術委員)
哺乳類	のろ たつや 野呂 達哉 (名古屋市環境局生物多様性専門員 金城学院大学非常勤講師)
鳥 類	おがさわら あきお 小笠原 昭夫 (名古屋学芸大学短期大学部非常勤講師)
は虫類	やべ たかし 矢部 隆 (名古屋市環境局生物多様性推進参与 愛知学泉大学現代マネジメント学部教授)
両生類	ふじたに たけし 藤谷 武史 (名古屋市緑政土木局東山動物園業務技師)
魚 類	たにぐち ましのり 谷口 義則 (名城大学理工学部環境創造学科准教授)
昆虫類	たなか たきひこ 田中 多喜彦 (名古屋市高年大学鯉城学園講師)
クモ類	すが ひでふみ 須賀 瑛文 (日本蜘蛛学会会員)
カニ類	あまの いさお 天野 勲 (日本甲殻類学会会員)
貝 類	かわせ もとひろ 川瀬 基弘 (愛知みずほ大学人間科学部講師)

(2) 調査対象

① 哺乳類

哺乳類の種を単位とし、標本あるいは文献等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種及び一過性の確認種を除く種を調査対象とした。

調査対象範囲は、名古屋市内の陸上及び陸水中とした。また、沿岸の浅海域、干潟、河口部も含むものとした。

② 鳥類

鳥類の種を単位とし、文献、調査記録等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種及び不定期または偶発的に記録される種を除く種を調査対象とした。

調査対象範囲は、名古屋市内の陸上及び陸水中とした。また、沿岸の浅海域、干潟、河口部も含むものとした。

③ は虫類

は虫類の種を単位とし、標本あるいは文献等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種を除く種を調査対象とした。

調査対象範囲は、名古屋市内の陸上及び陸水中とした。

④ 両生類

両生類の種を単位とし、標本あるいは文献等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種を除く種を調査対象とした。

調査対象範囲は、名古屋市内の陸上及び陸水中とした。

⑤ 魚類

魚類の種を単位とし、標本あるいは文献等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種を除く種を調査対象とした。

調査対象範囲は、名古屋市内の陸水中（河川、池沼等）とした。また、汽水域に生息する種も対象とするため河口部も含めた。

⑥ 昆虫類

昆虫類の種を単位とし、標本あるいは文献等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種及び一過性の確認種を除く種を調査対象とした。

調査対象範囲は、名古屋市内の陸上及び陸水中とした。また、干潟、河口部も含むものとした。

⑦ クモ類

クモ類の種を単位とし、標本あるいは文献等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種を除く種を調査対象とした。

調査対象範囲は、名古屋市内の陸上及び陸水中とした。また、河口部も含むものとした。

⑧ カニ類

カニ類の種を単位とし、標本あるいは文献等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種を除く種を調査対象とした。

調査対象範囲は、名古屋市内の陸上及び陸水中とした。また、沿岸の浅海域、干潟、河口部も含むものとした。

⑨ 貝類

貝類の種を単位とし、標本あるいは文献等により、名古屋市に確実に生息している（いた）と判断された種のうち、人為的に移入された種を除く種を調査対象とした。

調査対象範囲は、名古屋市内の陸上及び陸水中とした。また、干潟、河口部も含むものとした。

(3) 調査方法

調査は、平成24年度から平成26年度にかけて、分類群毎に以下の方法により実施した。

① 哺乳類

調査対象種について、文献調査、現地調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

既存文献を収集し、生息場所、確認時期等を調査した。

- ・現地調査

現地踏査を行い、生息状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査で把握した既知産地の現状についても調査した。

② 鳥類

調査対象種について、文献調査等により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査等

既存文献を収集し、生息場所、確認時期、個体数等の整理を行った。

複数の観察家による積年の調査資料（未公表）をできる限り収集して、市内各地の現状及び過去からの推移を詳しく知る手がかりとした。

③ は虫類

調査対象種について、文献調査と現地調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

既存文献を収集し、生息場所、確認時期等を調査した。

- ・現地調査

現地踏査を行い、生息状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査で把握した既知産地の現状についても調査した。

④ 両生類

調査対象種について、文献調査と現地調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

既存文献を収集し、生息場所、確認時期等を調査した。

- ・現地調査

現地踏査を行い、生息状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査で把握した既知産地の現状についても調査した。

⑤ 魚類

調査対象種について、文献調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

既存文献を収集し、生息場所、確認時期等を調査した。

- ・現地調査

現地踏査を行い、生息状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査で把握した既知産地の

現状についても調査した。

⑥ 昆虫類

調査対象種について、文献調査と現地調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

既存文献を収集し、生息場所、確認時期等を調査した。

- ・現地調査

現地踏査を行い、生息状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査で把握した既知産地の現状についても調査した。

⑦ クモ類

調査対象種について、文献調査と現地調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

既存文献を収集し、生息場所、確認時期等を調査した。

- ・現地調査

現地踏査を行い、生息状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査で把握した既知産地の現状についても調査した。

⑧ カニ類

調査対象種について、文献調査と現地調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

既存文献を収集し、生息場所、確認時期等を調査した。

- ・現地調査

現地踏査を行い、生息状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査で把握した既知産地の現状についても調査した。

⑨ 貝類

調査対象種について、文献調査と現地調査により生息状況の把握を行った。

- ・文献調査

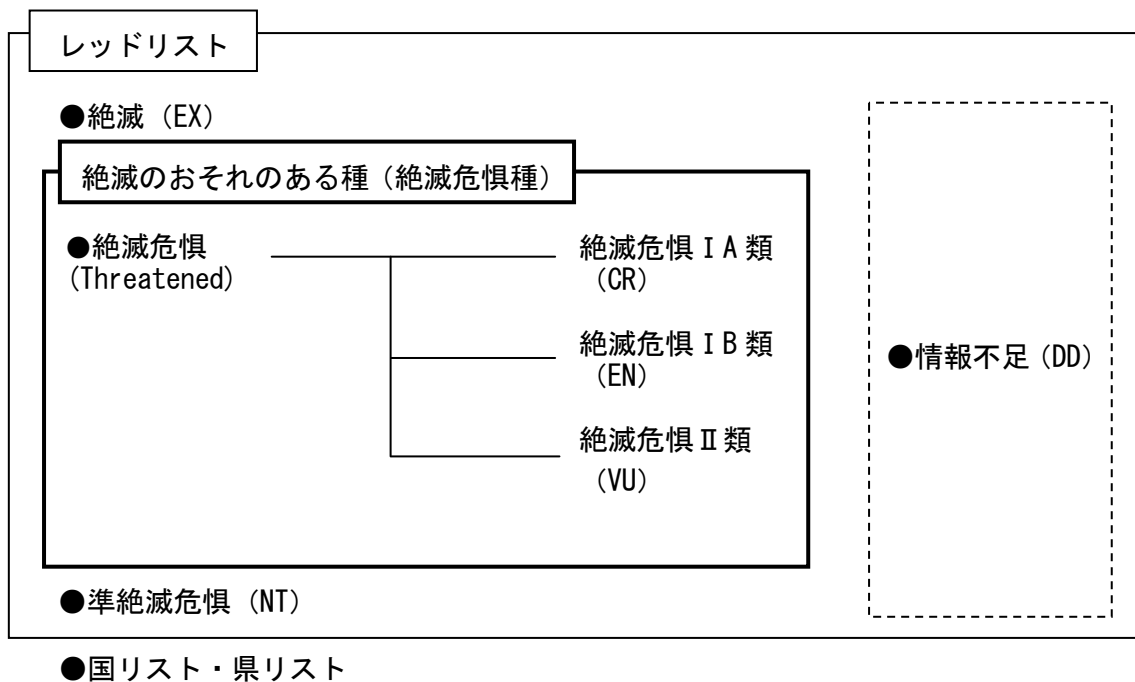
既存文献を収集し、生息場所、確認時期等を調査した。

- ・現地調査

現地踏査を行い、生息状況を調査するとともに、必要に応じて文献調査で把握した既知産地の現状についても調査した。

(4) レッドリストのカテゴリーと判定基準

今回のレッドリストの見直しに用いたカテゴリーは次のとおりである。



各調査対象種の絶滅のおそれの程度について、表 2 に示す判定基準に従い、各調査対象種について収集された情報をもとに、名古屋市内の分布の状況等を勘案して総合的に判断・評価を行い、定性的要件に従い絶滅のおそれの程度を判定した。

「絶滅」の評価については、「過去に確実に生息・生育していた種」と判断する文献や標本の整備状況及び移動能力が分類群毎に異なることから、表 3 に示す要件により判定した。なお、カテゴリーのうち野生絶滅は、原産地や遺伝的混乱の防止体制に疑問があると思われる場合もあり、また個人的に管理されているものもすべて確認することも困難であると判断されたので、絶滅とあわせ、絶滅・野生絶滅として扱うこととした（ただし、表記上は絶滅 (EX) とした）。

表2 動物に用いたカテゴリー（ランク）と判定基準

カテゴリー及び基本概念		定性的要件	
絶滅 Extinct (EX) ・ 野生絶滅 Extinct in the Wild (EW)	名古屋市ではすでに絶滅したと考えられる種。野生では絶滅し、飼育下あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種。	過去に名古屋市に生息していたことが確認されており、名古屋市において少なくとも本来の自然の生息地ではすでに絶滅したと考えられる種(飼育下あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態では存続している種を含む)。 【確実な情報があるもの】 1 信頼できる調査や記録により、すでに野生で絶滅したことが確認されている。 2 信頼できる複数の調査によっても、生息が確認できなかった。 【情報量が少ないもの】 3 過去50年間前後の間に、信頼できる生息の情報が得られていない。	
絶滅危惧 I 類 Critically Endangered + Endangered (CR+EN)	絶滅の危機に瀕している種。現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。	次のいずれかに該当する種。 【確実な情報があるもの】 1 既知のすべての個体群で、危機的水準にまで減少している。 2 既知のすべての生息地で、生息条件が著しく悪化している。 3 既知のすべての個体群がその再生産能力を上回る捕獲圧にさらされている。 4 ほとんどの分布域に交雑のおそれのある別種が侵入している。 【情報量が少ないもの】 5 それほど遠くない過去(30年~50年)の生息記録以後確認情報がなく、その後信頼すべき調査が行われていないため、絶滅したかどうかの判断が困難なもの。	絶滅危惧 I A類 (CR) ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの。
			絶滅危惧 I B類 (EN) I A類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。
絶滅危惧 II 類 Vulnerable (VU)	絶滅の危険が増大している種。現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のカテゴリーに移行することが確実と考えられるもの。	次のいずれかに該当する種 【確実な情報があるもの】 1 大部分の個体群で個体数が大幅に減少している。 2 大部分の生息地で生息条件が明らかに悪化しつつある。 3 大部分の個体群がその再生産能力を上回る捕獲圧にさらされている。 4 分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入している。	
準絶滅危惧 Near Threatened (NT)	存続基盤が脆弱な種。現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する要素を有するもの。	次に該当する種。 生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの。具体的には、分布域の一部において、次のいずれかの傾向が顕著であり、今後さらに進行するおそれがあるもの。 1 個体数が減少している。 2 生息条件が悪化している。 3 過度の捕獲圧による圧迫を受けている。 4 交雑可能な別種が侵入している。	
情報不足 Data Deficient (DD)	評価するだけの情報が不足している種。	環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性(具体的には、次のいずれかの要素)を有しているが、生息状況をはじめとして、カテゴリーを判定するに足る情報が得られていない種。あるいは確認例が極めて少なく、希少であるか否かも不明な種。 1 どの生息地においても生息密度が低く希少である。 2 生息地が局限されている。 3 生物地理上、孤立した分布特性を有する(分布域がごく限られた固有種等)。 4 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている。	
参考	国リスト	環境省レッドデータブック(2014)に掲載されているが、名古屋市において上記の要件に該当しない種。	—
	県リスト	愛知県レッドリスト(2015)に掲載されているが、名古屋市において上記の要件に該当しない種。	—

表 3 過去の生息種の要件

分類群	内 容
哺乳類	標本等の確実な生息記録がある種。
鳥 類	継続（経年的）確認記録がある種。ただし、迷行的に記録される種など一過性の種は除外。なお、隣接する市町村での生息状況も加味。
は虫類	標本等の確実な生息記録がある種。
両生類	標本等の確実な生息記録がある種。
魚 類	標本等の確実な生息記録がある種。
昆虫類	標本等の確実な生息記録がある種。なお、隣接する市町村での生息状況も加味。
クモ類	標本等の確実な生息記録がある種。ただし、調査記録は昭和 35 年以降。
カニ類	標本等の確実な生息記録がある種。
貝 類	標本等の確実な生息記録がある種。

3. 名古屋市版レッドリスト

名古屋市版レッドリストに掲載した種数は、表4のとおりである。

表4 名古屋市版レッドリスト掲載種数（動物）

カテゴリー 対象	絶滅 (EX)	絶滅のおそれのある種				準絶滅 危惧 (NT)	情報 不足 (DD)	計	参考
		絶滅 危惧 I A 類 (CR)	絶滅 危惧 I B 類 (EN)	絶滅 危惧 II 類 (VU)	小計				国リ スト・ 県リ スト
哺乳類	2	11	2	2	15	2	3	22	0
鳥類	0	2	7	15	24	21	3	48	1
は虫類	0	0	0	4	4	1	3	8	0
両生類	0	5	1	2	8	0	0	8	0
魚類	0	8	8	6	22	4	6	32	0
昆虫類	19	16	26	24	66	52	19	156	2
クモ類	0	6	3	9	18	8	3	29	0
カニ類	0	0	2	4	6	4	0	10	0
貝類	4	27	8	9	44	32	3	83	0
計	25	75	57	75	207	124	40	396	3

① 名古屋市版レッドリスト (哺乳類)

目及び科の範囲と種の配列は原則として「The Wild Mammals of Japan」(SHOUKADOH Book Sellers, 2009)、「日本の哺乳類 [改訂 2 版]」(東海大学出版会, 2008) に準拠した。

その他「Wilson & Reeder's Mammal Species of the World Third Edition」(<http://www.departments.bucknell.edu/biology/resources/msw3/>) を参照した。

絶滅 (EX)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	オオカミ	食肉(ネコ)	イヌ	<i>Canis lupus</i> Linnaeus	EX	EX	EX
2	ニホンジカ	偶蹄(ウシ)	シカ	<i>Cervus nippon</i> Temminck			EX

絶滅危惧 I A 類 (CR)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	ニホンジネズミ	トガリネズミ	トガリネズミ	<i>Crocidura dsinezumi</i> (Temminck)			EN
2	キクガシラコウモリ	翼手(コウモリ)	キクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i> (Schreber)		NT	CR
3	ハタネズミ	齧歯(ネズミ)	キヌゲネズミ	<i>Microtus montebelli</i> (Milne-Edwards)		NT	EN
4	ニホンリス	齧歯(ネズミ)	リス	<i>Sciurus lis</i> Temminck		NT	CR
5	ムササビ	齧歯(ネズミ)	リス	<i>Petaurista leucogenys</i> (Temminck)		NT	CR
6	ニホンノウサギ	ウサギ	ウサギ	<i>Lepus brachyurus</i> Temminck		NT	CR
7	アカギツネ	食肉(ネコ)	イヌ	<i>Vulpes vulpes</i> (Linnaeus)			CR
8	ニホンテン	食肉(ネコ)	イタチ	<i>Martes melampus</i> (Wagner)		NT	CR
9	ニホンイタチ	食肉(ネコ)	イタチ	<i>Mustela itatsi</i> Temminck			VU
10	ニホンアナグマ	食肉(ネコ)	イタチ	<i>Meles anakuma</i> Temminck		DD	CR
11	スナメリ	クジラ	ネズミイルカ	<i>Neophocaena phocaenoides</i> (G. Cuvier)		NT	CR

絶滅危惧 I B 類 (EN)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	ヒミズ	トガリネズミ	モグラ	<i>Urotrichus talpoides</i> Temminck			EN
2	カヤネズミ	齧歯(ネズミ)	ネズミ	<i>Micromys minutus</i> (Pallas)		VU	EN

絶滅危惧 II 類 (VU)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	コウベモグラ	トガリネズミ	モグラ	<i>Mogera wogura</i> (Temminck)		LP	VU
2	アカネズミ	齧歯(ネズミ)	ネズミ	<i>Apodemus speciosus</i> (Temminck)			VU

準絶滅危惧 (NT)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	タヌキ	食肉(ネコ)	イヌ	<i>Nyctereutes procyonoides</i> (Gray)			NT
2	カモシカ	偶蹄(ウシ)	ウシ	<i>Capricornis crispus</i> (Temminck)			NT

情報不足 (DD)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	オヒキコウモリ	翼手(コウモリ)	オヒキコウモリ	<i>Tadarida insignis</i> (Blyth)	VU	DD	
2	ニホンザル	霊長(サル)	オナガザル	<i>Macaca fuscata</i> (Blyth)			DD
3	イノシシ	偶蹄(ウシ)	イノシシ	<i>Sus scrofa</i> Linnaeus			EX

②名古屋市版レッドリスト（鳥類）

目及び科の範囲、名称、配列については「日本鳥類目録 改訂第7版」（日本鳥学会，2012）に準拠した。

絶滅（EX）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
(該当種なし)							

絶滅危惧ⅠA類（CR）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	クロツラヘラサギ	ペリカン	トキ	<i>Platalea minor</i> Temminck et Schlegel	EN		CR
2	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i> Latham	NT	繁殖 通過	EN NT CR

絶滅危惧ⅠB類（EN）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	ヨシゴイ	ペリカン	サギ	<i>Ixobrychus sinensis</i> (Gmelin)	NT	繁殖 通過	CR VU EN
2	ミゾゴイ	ペリカン	サギ	<i>Gorsachius goisagi</i> (Temminck)	VU	繁殖 通過	EN NT EN
3	オオジシギ	チドリ	シギ	<i>Gallinago hardwickii</i> (Gray)	NT	繁殖 通過	CR VU VU
4	ツルシギ	チドリ	シギ	<i>Tringa erythropus</i> (Pallas)	VU	通過	EN EN
5	タマシギ	チドリ	タマシギ	<i>Rostratula benghalensis</i> (Linnaeus)	VU	繁殖 通過	EN VU VU
6	コノハズク	フクロウ	フクロウ	<i>Otus sunia</i> (Hodgson)		繁殖 通過	CR NT EN
7	フクロウ	フクロウ	フクロウ	<i>Strix uralensis</i> Pallas		繁殖 越冬	NT VU

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	トモエガモ	カモ	カモ	<i>Anas formosa</i> Georgi	VU	越冬	VU VU
2	ヒクイナ	ツル	クイナ	<i>Porzana fusca</i> (Linnaeus)	NT	繁殖 通過	VU NT VU
3	オグロシギ	チドリ	シギ	<i>Limosa limosa</i> (Linnaeus)		通過	VU VU
4	ホウロクシギ	チドリ	シギ	<i>Numenius madagascariensis</i> (Linnaeus)	VU	通過	VU VU
5	タカブシギ	チドリ	シギ	<i>Tringa glareola</i> Linnaeus	VU	通過	EN VU
6	ウズラシギ	チドリ	シギ	<i>Calidris acuminata</i> (Horsfield)		通過	EN VU
7	ズグロカモメ	チドリ	カモメ	<i>Larus saundersi</i> (Swinhoe)	VU	越冬	EN VU
8	コアジサシ	チドリ	カモメ	<i>Sterna albifrons</i> Pallas	VU	繁殖 通過	EN NT VU
9	ハチクマ	タカ	タカ	<i>Pernis ptilorhynchus</i> (Temminck)	NT	繁殖 通過	VU NT VU
10	チュウヒ	タカ	タカ	<i>Circus spilonotus</i> Kaup	EN	繁殖 越冬	CR VU VU
11	サシバ	タカ	タカ	<i>Butastur indicus</i> (Gmelin)	VU	繁殖 通過	VU NT VU
12	アオバズク	フクロウ	フクロウ	<i>Ninox scutulata</i> (Raffles)		繁殖 通過	EN NT VU
13	ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i> Tunstall	VU	繁殖 越冬	VU NT VU
14	コシアカツバメ	スズメ	ツバメ	<i>Hirundo daurica</i> Laxmann			VU
15	コイカル	スズメ	アトリ	<i>Eophona migratoria</i> Hartert			VU

リ
ス
ト

準絶滅危惧 (NT)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	チュウサギ	ペリカン	サギ	<i>Egretta intermedia</i> (Wagler)	NT	繁殖 通過 国リスト	NT
2	クイナ	ツル	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i> Linnaeus		越冬 NT	NT
3	カッコウ	カッコウ	カッコウ	<i>Cuculus canorus</i> Linnaeus		繁殖 通過 リスト外	NT
4	イカルチドリ	チドリ	チドリ	<i>Charadrius placidus</i> Gray et Gray		繁殖 通過 越冬 NT	NT
5	シロチドリ	チドリ	チドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i> Linnaeus	VU	繁殖 越冬 NT	NT
6	メダイチドリ	チドリ	チドリ	<i>Charadrius mongolus</i> Pallas			NT
7	セイトカシギ	チドリ	セイトカシギ	<i>Himantopus himantopus</i> (Linnaeus)	VU	繁殖 越冬 NT	NT
8	ヤマシギ	チドリ	シギ	<i>Scolopax rusticola</i> Linnaeus		越冬 NT	NT
9	オオソリハシシギ	チドリ	シギ	<i>Limosa lapponica</i> (Linnaeus)	VU	通過 VU	NT
10	ダイシャクシギ	チドリ	シギ	<i>Numenius arquata</i> (Linnaeus)		越冬 VU	NT
11	アカアシシギ	チドリ	シギ	<i>Tringa totanus</i> (Linnaeus)	VU	通過 VU	NT
12	オバシギ	チドリ	シギ	<i>Calidris tenuirostris</i> (Horsfield)		通過 NT	NT
13	コオバシギ	チドリ	シギ	<i>Calidris canutus</i> (Linnaeus)		通過 VU	NT
14	ハマシギ	チドリ	シギ	<i>Calidris alpina</i> (Linnaeus)	NT	越冬 NT	NT
15	エリマキシギ	チドリ	シギ	<i>Philomachus pugnax</i> (Linnaeus)		通過 VU	
16	ミサゴ	タカ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i> (Linnaeus)	NT	繁殖 越冬 リスト外	NT
17	ツミ	タカ	タカ	<i>Accipiter gularis</i> (Temminck et Schlegel)		繁殖 通過 リスト外	NT
18	ハイタカ	タカ	タカ	<i>Accipiter nisus</i> (Linnaeus)	NT	越冬 国リスト	NT
19	オオタカ	タカ	タカ	<i>Accipiter gentilis</i> (Linnaeus)	NT	繁殖 越冬 NT	NT
20	オオコノハズク	フクロウ	フクロウ	<i>Otus lempiji</i> (Horsfield)		繁殖 越冬 NT	NT
21	サンショウクイ	スズメ	サンショウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i> (Raffles)	VU	繁殖 通過 国リスト	NT

情報不足 (DD)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	ウズラ	キジ	キジ	<i>Coturnix japonica</i> Temminck et Schlegel	VU	越冬 EN	DD
2	シベリアオオハシシギ	チドリ	シギ	<i>Limnodromus semipalmatus</i> (Blyth)	DD	通過 CR	DD
3	ノジコ	スズメ	ホオジロ	<i>Emberiza sulphurata</i> Temminck et Schlegel	NT	繁殖 通過 CR NT	DD

国リスト

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	ケリ	チドリ	チドリ	<i>Vanellus cinereus</i> (Blyth)	DD	繁殖 越冬 国リスト	

③名古屋市版レッドリスト（は虫類）

目及び科の範囲、名称、配列については、原則として「日本産爬虫両生類標準和名」（日本爬虫両棲類学会，2014）に準拠した。

絶滅（EX）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
(該当種なし)							

絶滅危惧 I A類（CR）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
(該当種なし)							

絶滅危惧 I B類（EN）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
(該当種なし)							

絶滅危惧 II類（VU）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	ニホンイシガメ	カメ	イシガメ	<i>Mauremys japonica</i> (Temminck et Schlegel)	NT	NT	NT
2	ヒバカリ	有鱗	ナミヘビ	<i>Amphiesma vibakari vibakari</i> (Boie)			NT
3	シロマダラ	有鱗	ナミヘビ	<i>Dinodon orientale</i> (Hilgendorf)		DD	VU
4	ヤマカガシ	有鱗	ナミヘビ	<i>Rhabdophis tigrinus tigrinus</i> (Boie)		DD	NT

準絶滅危惧（NT）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	シマヘビ	有鱗	ナミヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i> (Boie)			NT

情報不足（DD）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	クサガメ	カメ	イシガメ	<i>Mauremys reevesii</i> (Gray)			NT
2	ニホンスッポン	カメ	スッポン	<i>Pelodiscus sinensis</i> (Wiegmann)	DD	DD	VU
3	ニホンマムシ	有鱗	クサリヘビ	<i>Gloydius blomhoffii</i> (Boie)			

④ 名古屋市版レッドリスト（両生類）

目及び科の範囲、名称、配列については、原則として「日本爬虫両生類標準和名」（日本爬虫両棲類学会，2014）に準拠した。

絶滅（EX）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
(該当種なし)							

絶滅危惧ⅠA類（CR）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	カスミサンショウウオ	有尾	サンショウウオ	<i>Hynobius nebulosus</i> (Temminck et Schlegel)	VU	EN	CR
2	アカハライモリ	有尾	イモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i> (Boie)	NT	DD	CR
3	ツチガエル	無尾	アカガエル	<i>Glandirana rugosa</i> (Temminck et Schlegel)		DD	EN
4	ナゴヤダルマガエル	無尾	アカガエル	<i>Pelophylax porosus brevipodus</i> (Ito)	EN	VU	CR
5	シュレーゲルアオガエル	無尾	アオガエル	<i>Rhacophorus schlegelii</i> (Gunther)			CR

絶滅危惧ⅠB類（EN）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	ニホンアカガエル	無尾	アカガエル	<i>Rana japonica</i> Boulenger			EN

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	アズマヒキガエル	無尾	ヒキガエル	<i>Bufo japonicus formosus</i> Boulenger			
2	トノサマガエル	無尾	アカガエル	<i>Pelophylax nigromaculatus</i> (Hallowell)	NT	国リスト	VU

準絶滅危惧（NT）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
(該当種なし)							

情報不足（DD）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
(該当種なし)							

⑤ 名古屋市版レッドリスト（魚類）

目及び科の範囲、名称、配列については、原則として「日本産野生生物目録—本邦産野生動植物の種の現状—（脊椎動物編）」（環境庁編,1993）に準拠した。標準和名および学名（目、科、種名）については、「日本産魚類検索 全種の同定 第3版」中坊編（2013）によった。

絶滅（EX）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
(該当種なし)							

絶滅危惧ⅠA類（CR）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	スナヤツメ類	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	<i>Lethenteron</i> spp.	VU	EN	CR
2	カワバタモロコ	コイ	コイ	<i>Hemigrammocyppris rasborella</i> Fowler	EN	EN	
3	ヤリタナゴ	コイ	コイ	<i>Tanakia lanceolata</i> (Temminck et Schlegel)	NT	CR	VU
4	トウカイコガタ スジシマドジョウ	コイ	ドジョウ	<i>Cobitis minamorii tokaiensis</i> Nakajima	EN	EN	CR
5	ホトケドジョウ	コイ	ドジョウ	<i>Lefua echigonia</i> Jordan et Richardson	EN	EN	EN
6	アカザ	ナマズ	アカザ	<i>Liobagrus reini</i> Hilgendorf	VU	NT	EN
7	ドンコ	スズキ	ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i> (Temminck et Schlegel)		EN	EN
8	トウカイヨシノボリ	スズキ	ハゼ	<i>Rhinogobius</i> sp. TO	NT	CR	

絶滅危惧ⅠB類（EN）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	ニホンウナギ	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i> Temminck et Schlegel	EN	EN	NT
2	カワムツ	コイ	コイ	<i>Candidia temminckii</i> (Temminck et Schlegel)			
3	ニシシマドジョウ	コイ	ドジョウ	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE type B		VU	EN
4	カマキリ(アユカケ)	スズキ	カジカ	<i>Cottus kazika</i> Jordan et Starks	VU	EN	EN
5	ウツセミカジカ	スズキ	カジカ	<i>Cottus reini</i> Hilgendorf	EN	VU	EN
6	トビハゼ	スズキ	ハゼ	<i>Periophthalmus modestus</i> Cantor	NT	VU	
7	マサゴハゼ	スズキ	ハゼ	<i>Pseudogobius masago</i> (Tomiya)	VU	VU	
8	エドハゼ	スズキ	ハゼ	<i>Gymnogobius macrogathos</i> Bleeker	VU	NT	

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	ゼゼラ	コイ	コイ	<i>Biwia zezera</i> (Ishikawa)	VU	NT	VU
2	ドジョウ	コイ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i> (Cantor)	DD	VU	
3	アユ	サケ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i> (Temminck et Schlegel)			NT
4	シラウオ	サケ	シラウオ	<i>Salangichthys microdon</i> (Bleeker)		VU	
5	ミナメダカ	ダツ	メダカ	<i>Oryzias latipes</i> (Temminck et Schlegel)	VU	NT	VU
6	カワアナゴ	スズキ	カワアナゴ	<i>Eleotris oxycephala</i> Temminck et Schlegel		NT	VU

準絶滅危惧（NT）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	タモロコ	コイ	コイ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i> (Temminck et Schlegel)			
2	ナマズ	ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i> Linnaeus			NT
3	スミウキゴリ	スズキ	ハゼ	<i>Gymnogobius petschiliensis</i> (Rendahl)			
4	ウキゴリ	スズキ	ハゼ	<i>Gymnogobius urotaenia</i> (Hilgendorf)			VU

情報不足（DD）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	コイ(在来型)	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i> Linnaeus		DD	
2	ヌマムツ	コイ	コイ	<i>Candidia sieboldii</i> (Temminck et Schlegel)			
3	ウンモツゴ	コイ	コイ	<i>Pseudorasbora pumila</i> subsp.	CR	CR	
4	カワヒガイ	コイ	コイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus variegatus</i> (Temminck et Schlegel)	NT	CR	

5	サツキマス・アマゴ	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou ishikawae</i> Jordan et McGregor	NT	DD	EN
6	クルマサヨリ	ダツ	サヨリ	<i>Hyporhamphus intermedius</i> (Cantor)	NT	DD	

⑥ 名古屋市版レッドリスト (昆虫類)

目及び科の範囲、名称、配列については、原則として「日本産野生生物目録 –本邦産野生動物の種の現状– (無脊椎動物編Ⅱ)」(環境庁編, 1995) を基に新しい知見を加え整理した。

絶滅 (EX)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	コバナアオイトトンボ	トンボ	アオイトトンボ	<i>Lestes japonicus</i> Selys	EN	CR	EX
2	アオハダトンボ	トンボ	カワトンボ	<i>Calopteryx japonica</i> Selys	NT	国リスト	EX
3	ヒヌマイトトンボ	トンボ	イトトンボ	<i>Mortonagrion Hiroseii</i> Asahina	EN	EN	EX
4	キイロヤマトンボ	トンボ	ヤマトンボ	<i>Macromia daimoji</i> Okumura	NT	NT	CR
5	マダラナニワトンボ	トンボ	トンボ	<i>Sympetrum maculatum</i> Oguma	EN	EN	EX
6	ベッコウトンボ	トンボ	トンボ	<i>Libellula angelina</i> Selys	CR	CR	CR
7	タガメ	カメムシ	コオイムシ	<i>Kirkaldyia deyrolli</i> (Vuillefroy)	VU	EN	EX
8	トゲナベバタムシ	カメムシ	ナベバタムシ	<i>Aphelocheirus nawae</i> Nawa	VU	EX	
9	カワラハンミョウ	コウチュウ	ハンミョウ	<i>Cicindela laetescripta</i> Motschulsky	EN	CR	EX
10	キベリマルクビゴミムシ	コウチュウ	オサムシ	<i>Nebria livida angulata</i> Banninger	EN	CR	CR
11	エチゴトクリゴミムシ	コウチュウ	オサムシ	<i>Oodes echigonus</i> Habu et Baba	NT		
12	ゲンゴロウ	コウチュウ	ゲンゴロウ	<i>Cybister chinensis</i> Motschulsky	VU	EN	EX
13	コガタノゲンゴロウ	コウチュウ	ゲンゴロウ	<i>Cybister tripunctatus lateralis</i> (Fabricius)	VU	EX	EX
14	マルガタゲンゴロウ	コウチュウ	ゲンゴロウ	<i>Graphoderus adamsii</i> (Clark)	VU	EX	EX
15	スジゲンゴロウ	コウチュウ	ゲンゴロウ	<i>Hydaticus satoi</i> Wewalka	EX	EX	EX
16	マダラシマゲンゴロウ	コウチュウ	ゲンゴロウ	<i>Hydaticus thermonecotoides</i> Sharp	CR	EX	EX
17	シルビアシジミ	チョウ	シジミチョウ	<i>Zizina emelina emelina</i> (de l'Orza)	EN	EX	EX
18	オオウラギンヒョウモン	チョウ	タテハチョウ	<i>Fabriciana nerippe</i> (C. Felder et R. Felder)	CR	EX	EX
19	ヒメヒカゲ	チョウ	タテハチョウ	<i>Coenonympha oedippus arothius</i> Okada et Torii	EN	CR	EX

絶滅危惧 I A 類 (CR)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	ムカシヤンマ	トンボ	ムカシヤンマ	<i>Tanypteryx pryeri</i> (Selys)			CR
2	オオキトンボ	トンボ	トンボ	<i>Sympetrum uniforme</i> (Selys)	EN	CR	CR
3	コバンムシ	カメムシ	コバンムシ	<i>Ilyocoris cimicoides exclamatoris</i> (Scott)	EN	CR	CR
4	イトアメンボ	カメムシ	イトアメンボ	<i>Hydrometra albolineata</i> (Scott)	VU	VU	
5	カララゴミムシ	コウチュウ	カララゴミムシ	<i>Omophron aequale</i> Morawitz		NT	CR
6	フタモンマルクビゴミムシ	コウチュウ	オサムシ	<i>Nebria pulcherrima</i> Bates	EN	CR	CR
7	オオヒョウタンゴミムシ	コウチュウ	オサムシ	<i>Scarites sulcatus</i> Olivier	NT	VU	CR
8	ムツボシツヤコツブゲンゴロウ	コウチュウ	コツブゲンゴロウ	<i>Canthydrus politus</i> (Sharp)	VU	NT	CR
9	クロゲンゴロウ	コウチュウ	ゲンゴロウ	<i>Cybister brevis</i> Aubé	NT	VU	CR
10	オオクワガタ	コウチュウ	クワガタムシ	<i>Dorcus hopei binodulosus</i> Waterhouse	VU	CR	CR
11	マメハンミョウ	コウチュウ	ツチハンミョウ	<i>Epicauta gorhami</i> Marseul			VU
12	ヨツボシカミキリ	コウチュウ	カミキリムシ	<i>Stenyrgrinus quadrinotatus</i> Bates	EN	EN	CR
13	オオシロカミキリ	コウチュウ	カミキリムシ	<i>Olenecamptus cretaceus cretaceus</i> Bates			CR
14	ミヤマチャバネセセリ	チョウ	セセリチョウ	<i>Pelopidas jansonis</i> (Butler)		EN	CR
15	ギフチョウ	チョウ	アゲハチョウ	<i>Luehdorfia japonica</i> Leech	VU	VU	CR
16	ウラナミジヤノメ	チョウ	タテハチョウ	<i>Ypthima multistriata nipponica</i> Murayama	VU	VU	CR

絶滅危惧 I B 類 (EN)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	オグマサナエ	トンボ	サナエトンボ	<i>Trigomphus ogumai</i> Asahina	NT	VU	VU
2	フタスジサナエ	トンボ	サナエトンボ	<i>Trigomphus interruptus</i> (Selys)	NT	VU	VU
3	ホンサナエ	トンボ	サナエトンボ	<i>Shaogomphus postocularis</i> (Selys)			EN
4	キイロサナエ	トンボ	サナエトンボ	<i>Asiagomphus pryeri</i> (Selys)	NT	NT	EN
5	エゾトンボ	トンボ	エゾトンボ	<i>Somatochlora viridiaenea</i> (Uhler)		VU	EN
6	キトンボ	トンボ	トンボ	<i>Sympetrum croceolum</i> (Selys)		EN	EN
7	クツワムシ	バッタ	クツワムシ	<i>Mecopoda nipponensis</i> (de Haan)			NT
8	ハウチワウンカ	カメムシ	ゲンバウンカ	<i>Trypetimorpha japonica</i> Ishihara	VU		NT
9	アカジマアシブウンカ	カメムシ	アカジマウンカ	<i>Ommatidiotus japonicus</i> Y. Hori		NT	EN
10	オオアメンボ	カメムシ	アメンボ	<i>Aquarius elongatus</i> (Uhler)		NT	EN
11	エサキアメンボ	カメムシ	アメンボ	<i>Limnoporus esakii</i> (Miyamoto)	NT	NT	EN
12	ホソハンミョウ	コウチュウ	ハンミョウ	<i>Cicindela gracilis</i> Pallas	VU	VU	EN

13	マダラコガシラミズムシ	コウチュウ	コガシラミズムシ	<i>Haliplus sharpi</i> Wehncke	VU	EN	EN
14	キボシチビコツブゲンゴロウ	コウチュウ	コツブゲンゴロウ	<i>Neohydrocoptus bivittis</i> (Motschulsky)	EN	NT	
15	ミズスマシ	コウチュウ	ミズスマシ	<i>Gyrinus curtus</i> Motschulsky	EN	EN	
16	ガムシ	コウチュウ	ガムシ	<i>Hydrophilus acuminatus</i> Motschulsky	NT		VU
17	ヤマトモンシデムシ	コウチュウ	シデムシ	<i>Nicrophorus japonicus</i> Harold	NT	VU	EN
18	アカマダラハナムグリ	コウチュウ	コガネムシ	<i>Poecilophilides rusticola</i> (Burmeister)	DD	NT	EN
19	クロマダラタマムシ	コウチュウ	タマムシ	<i>Nipponobuprestis querceti</i> (E. Saunders)		VU	EN
20	ゲンジボタル	コウチュウ	ホタル	<i>Luciola cruciata</i> Motschulsky			EN
21	ヘイケボタル	コウチュウ	ホタル	<i>Luciola lateralis</i> Motschulsky			EN
22	マエジロツトガ	チョウ	ツトガ	<i>Pseudocatharylla infixella</i> (Walker)			
23	エンスイミズメイガ	チョウ	ツトガ	<i>Eristena argentata</i> Yoshiyasu		DD	VU
24	オオチャバネオトウ	チョウ	ヤガ	<i>Nonagria puengeleri</i> (Schawerda)	VU	NT	VU
25	ウラギンスジヒョウモン	チョウ	タテハチョウ	<i>Argyronome laodice japonica</i> (Ménétrières)	VU	NT	EN
26	ウラギンヒョウモン	チョウ	タテハチョウ	<i>Fabriciana adippe pallescens</i> (Butler)			EN

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	ベニイトトンボ	トンボ	イトトンボ	<i>Ceriagrion nipponicum</i> Asahina	NT	VU	EN
2	オオイトトンボ	トンボ	イトトンボ	<i>Paracercion sieboldii</i> (Selys)		EN	NT
3	ネアカヨシヤンマ	トンボ	ヤンマ	<i>Aeschnophlebia anisoptera</i> Selys	NT	NT	VU
4	アオヤンマ	トンボ	ヤンマ	<i>Aeschnophlebia longistigma</i> Selys	NT	EN	VU
5	タバサナエ	トンボ	サナエトンボ	<i>Trigomphus citimus tabei</i> Asahina	NT	国リスト	
6	チツチゼミ	カメムシ	ゼミ	<i>Kosemia radiator</i> (Uhler)			VU
7	ヒメタイコウチ	カメムシ	タイコウチ	<i>Nepa hoffmanni</i> Esaki		NT	VU
8	ハンミョウ	コウチュウ	ハンミョウ	<i>Cicindela chinensis japonica</i> Thunberg			VU
9	クロホシコガシラミズムシ	コウチュウ	コガシラミズムシ	<i>Haliplus basinotatus latiusculus</i> Nakane	VU		
10	ルイスツブゲンゴロウ	コウチュウ	ゲンゴロウ	<i>Laccophilus lewisius</i> Sharp	VU		
11	シマゲンゴロウ	コウチュウ	ゲンゴロウ	<i>Hydaticus bowringii</i> Clark	NT	NT	VU
12	コオナガミズスマシ	コウチュウ	ミズスマシ	<i>Orectochilus punctipennis</i> Sharp	VU	NT	VU
13	ミズスマシ	コウチュウ	ミズスマシ	<i>Gyrinus japonicus</i> Sharp	VU	VU	
14	ミツノエンマコガネ	コウチュウ	コガネムシ	<i>Onthophagus tricornis</i> (Wiedemann)			VU
15	ベーツヒラタカミキリ	コウチュウ	カミキリムシ	<i>Euplynes batesi</i> Harold			VU
16	ゴマフツトガ	チョウ	ツトガ	<i>Chilo pulveratus</i> (Wileman et South)	NT		VU
17	アヤコバナナミシヤク	チョウ	シヤクガ	<i>Acasis bellaria</i> (Leech)			
18	スマベウスキオトウ	チョウ	ヤガ	<i>Chilodes pacificus</i> Sugi	VU		NT
19	ガマオトウ	チョウ	ヤガ	<i>Capsula aerata</i> (Butler)	VU		NT
20	キスジウスキオトウ	チョウ	ヤガ	<i>Capsula sparganii</i> (Esper)	VU	NT	
21	トビイロアカガネオトウ	チョウ	ヤガ	<i>Euplexia albilineola</i> (Wileman et South)			NT
22	ミヤマセセリ	チョウ	セセリチョウ	<i>Erynnis montana montana</i> (Bremer)			VU
23	ウラクロシジミ	チョウ	シジミチョウ	<i>Iratsume orsedice orsedice</i> (Butler)		NT	VU
24	イチモンジチョウ	チョウ	タテハチョウ	<i>Limnitis camilla japonica</i> Ménétrières			VU

準絶滅危惧 (NT)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	セスジイトトンボ	トンボ	イトトンボ	<i>Paracercion hieroglyphicum</i> (Brauer)			
2	ムスジイトトンボ	トンボ	イトトンボ	<i>Paracercion melanotum</i> (Selys)			NT
3	モートンイトトンボ	トンボ	イトトンボ	<i>Mortonagrion selenion</i> (Ris)	NT	NT	NT
4	サラサヤンマ	トンボ	ヤンマ	<i>Sarasaeschna pryeri</i> (Martin)			NT
5	コシボソヤンマ	トンボ	ヤンマ	<i>Boyeria maclachlani</i> (Selys)			NT
6	マルタンヤンマ	トンボ	ヤンマ	<i>Anaciaeschna martini</i> (Selys)			NT
7	ナゴヤサナエ	トンボ	サナエトンボ	<i>Stylurus nagoyanus</i> (Asahina)	VU	NT	NT
8	メガネサナエ	トンボ	サナエトンボ	<i>Stylurus oculatus</i> (Asahina)	VU	NT	NT
9	トラフトンボ	トンボ	エゾトンボ	<i>Epithea marginata</i> (Selys)		NT	VU
10	ハッチョウトンボ	トンボ	トンボ	<i>Nannophya pygmaea</i> Rambur			NT
11	オオゴキブリ	ゴキブリ	オオゴキブリ	<i>Panesthia angustipennis spadica</i> (Shiraki)		NT	NT
12	ヒメカマキリ	カマキリ	ヒメカマキリ	<i>Acromantis japonica</i> Westwood			NT
13	ハネナシコロギス	バッタ	コロギス	<i>Nippancistroger testaceus</i> (Matsumura et Shiraki)			
14	コロギス	バッタ	コロギス	<i>Prosopogryllacris japonica</i> (Matsumura et Shiraki)			NT
15	ヤマトフキバッタ	バッタ	バッタ	<i>Parapodisma setouchiensis</i> Inoue			NT
16	セグロイナゴ	バッタ	バッタ	<i>Shirakiacris shirakii</i> (Bolivar)			NT
17	ハネナガイナゴ	バッタ	バッタ	<i>Oxya japonica</i> (Thunberg)			DD
18	ナナフシモドキ	ナナフシ	ナナフシモドキ	<i>Ramulus mikado</i> (Rehn)			NT
19	トゲナナフシ	ナナフシ	トゲナナフシ	<i>Neohirasea japonica</i> (de Haan)			NT

リ
ス
ト

20	ハルゼミ	カメムシ	セミ	<i>Terpnosia vacua</i> (Olivier)			NT
21	タイコウチ	カメムシ	タイコウチ	<i>Laccotrephes japonensis</i> Scott			NT
22	ミズカマキリ	カメムシ	タイコウチ	<i>Ranatra chinensis</i> Mayr			NT
23	シロヘリツチカメムシ	カメムシ	ツチカメムシ	<i>Canthophorus niveimarginatus</i> Scott	NT		DD
24	イグチケブカゴミムシ	コウチュウ	オサムシ	<i>Peronomerus auripilis</i> Bates	NT		
25	マルチビゲンゴロウ	コウチュウ	ゲンゴロウ	<i>Leiodytes frontalis</i> (Sharp)	NT	NT	
26	コウバツブゲンゴロウ	コウチュウ	ゲンゴロウ	<i>Laccophilus kobensis</i> Sharp	NT		
27	キバシロヒメゲンゴロウ	コウチュウ	ゲンゴロウ	<i>Ilybius apicalis</i> Sharp	NT		
28	マルヒラタガムシ	コウチュウ	ガムシ	<i>Enochrus subsignatus</i> (Harold)	NT		
29	オオミズスマシ	コウチュウ	ミズスマシ	<i>Dineutus orientalis</i> (Modeer)	NT	NT	NT
30	ヤマトエンマムシ	コウチュウ	エンマムシ	<i>Hister japonicus</i> Marseul			NT
31	ヒラタクワガタ	コウチュウ	クワガタムシ	<i>Serrognathus platymelus pilifer</i> (Snellen van Vollenhoven)			NT
32	コカブトムシ	コウチュウ	コガネムシ	<i>Eophileurus chinensis chinensis</i> (Faldermann)			NT
33	ヒメボタル	コウチュウ	ボタル	<i>Luciola parvula</i> Kiesenwetter			NT
34	ヤマトヒメダカカコウ ウムシ	コウチュウ	カッコウムシ	<i>Neohydnus hozumii</i> Nakane			DD
35	ヤマトオサムシダマシ	コウチュウ	ゴミムシダマシ	<i>Blaps japonensis</i> Marseul	NT		
36	ハイイロボクトウ	チョウ	ボクトウガ	<i>Phragmataecia castaneae</i> (Hübner)	NT	国リスト	
37	クワトゲエダシヤク	チョウ	シヤクガ	<i>Apochima excavata</i> (Dyar)	NT		
38	オナガミズアオ	チョウ	ヤママユガ	<i>Actias gnoma gnoma</i> (Butler)	NT	国リスト	
39	イボタガ	チョウ	イボタガ	<i>Brahmaea japonica</i> Butler			NT
40	ヤネホソバ	チョウ	ヒトリガ	<i>Eilema fuscodorsalis</i> (Matsumura)	NT		
41	キシタアツバ	チョウ	ヤガ	<i>Hypena claripennis</i> (Butler)	NT	国リスト	
42	フシキキシタバ	チョウ	ヤガ	<i>Catocala separans</i> Leech			NT
43	コシロシタバ	チョウ	ヤガ	<i>Catocala actaea</i> Felder et Rogenhofer	NT		
44	マダラウスズミケンモン	チョウ	ヤガ	<i>Hylonycta subornata</i> (Leech)			DD
45	ウスミモンキリガ	チョウ	ヤガ	<i>Eupsilia contracta</i> (Butler)	NT	国リスト	
46	ミスジキリガ	チョウ	ヤガ	<i>Jodia sericea</i> (Butler)	NT		
47	アトジロキリガ	チョウ	ヤガ	<i>Dioszeghyana mirabilis</i> (Sugi)			NT
48	ジャコウアゲハ	チョウ	アゲハチョウ	<i>Atrophaneura alcinous alcinous</i> (Klug)			NT
49	ツマグロキチョウ	チョウ	シロチョウ	<i>Eurema laeta betheseba</i> (Janson)	EN	国リスト	NT
50	ウラゴマダランジミ	チョウ	シジミチョウ	<i>Artopoes pryeri pryeri</i> (Murray)			NT
51	ヒオドシチョウ	チョウ	タテハチョウ	<i>Nymphalis xanthomelas japonica</i> (Stichel)			NT
52	ジャノメチョウ	チョウ	タテハチョウ	<i>Minois dryas bipunctata</i> (Motschulsky)			NT

情報不足 (DD)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	ハネビロエゾトンボ	トンボ	エゾトンボ	<i>Somatochlora clavata</i> Oguma	VU	VU	DD
2	ホソクビツユムシ	バッタ	ツユムシ	<i>Shirakisotima japonica</i> (Matsumura et Shiraki)			
3	アリツカコオロギの一種	バッタ	アリツカコオロギ	<i>Myrmecophilus</i> sp.			DD
4	タイワントビナナフシ	ナナフシ	トビナナフシ	<i>Sipyloidea sipyilus</i> (Westwood)			DD
5	コオイムシ	カメムシ	コオイムシ	<i>Appasus japonicus</i> Vuillefroy	NT	国リスト	DD
6	トダセスジゲンゴロウ	コウチュウ	ゲンゴロウ	<i>Copelatus nakamurai</i> Guéorguiev	VU	NT	DD
7	シワムネマルドROMシ	コウチュウ	マルドROMシ	<i>Georissus kurosawai</i> Nakane			DD
8	ヤマトホソガムシ	コウチュウ	ホソガムシ	<i>Hydrochus japonicus</i> Sharp	NT	NT	DD
9	ヒメシジミガムシ	コウチュウ	ガムシ	<i>Laccobius fragilis</i> Nakane			DD
10	コガムシ	コウチュウ	ガムシ	<i>Hydrochara affinis</i> (Sharp)	DD		
11	コガタガムシ	コウチュウ	ガムシ	<i>Hydrophilus bilineatus cashimirensis</i> Redtenbacher	VU		
12	クロエンマムシ	コウチュウ	エンマムシ	<i>Hister concolor</i> Lewis		DD	DD
13	マダラクワガタ	コウチュウ	クワガタムシ	<i>Aesalus asiaticus asiaticus</i> Lewis			DD
14	カギアシゾウムシ	コウチュウ	ゾウムシ	<i>Bagous bipunctatus</i> (Kono)		DD	DD
15	ヤホシホソマダラ	チョウ	マダラガ	<i>Balataea octomaculata</i> (Bremer)	NT		
16	オオシモフリズズメ	チョウ	ズズメガ	<i>Langia zenzeroides nawai</i> Rothschild et Jordan			
17	トウカイツマキリアツバ	チョウ	ヤガ	<i>Tamba roseopurpurea</i> Sugi			DD
18	カギモンハナオイア ツバ	チョウ	ヤガ	<i>Cidaripura signata</i> (Butler)	NT	国リスト	
19	ホソバオビキリガ	チョウ	ヤガ	<i>Dryobotodes angusta angusta</i> Sugi			

国リスト・県リスト

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	ノシメトンボ	トンボ	トンボ	<i>Sympetrum infuscatum</i> (Selys)		NT	
2	ウスバカマキリ	カマキリ	カマキリ	<i>Mantis religiosa</i> (Linnaeus)	DD		

⑦ 名古屋市版レッドリスト (クモ類)

目及び科の範囲、名称、配列については、原則として「日本産クモ類目録 Ver. 2014R1」(谷川明男, 2014: インターネット上にて公表) に準拠した。

絶滅 (EX)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
(該当種なし)							

絶滅危惧 I A 類 (CR)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	ワスレナグモ	クモ	ジグモ	<i>Calommata signata</i> Karsch	NT	VU	CR
2	カネコトタテグモ	クモ	カネコトタテグモ	<i>Antrodiaetus roretzi</i> (L. Koch)	NT	VU	CR
3	キシノウエトタテグモ	クモ	トタテグモ	<i>Latouchia typica</i> (Kishida)	NT	VU	CR
4	ムツトゲイセキグモ	クモ	コガネグモ	<i>Ordgarius sexspinosus</i> (Thorell)		EN	CR
5	カコウコモリグモ	クモ	コモリグモ	<i>Pardosa nojimai</i> Tanaka		VU	CR
6	テジロハリゲコモリグモ	クモ	コモリグモ	<i>Pardosa yamanoi</i> Tanaka et Suwa		EN	CR

絶滅危惧 I B 類 (EN)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	キノボリトタテグモ	クモ	トタテグモ	<i>Conothele fragaria</i> (Dönitz)	NT	VU	EN
2	ミナミコモリグモ	クモ	コモリグモ	<i>Piratula meridionalis</i> (Tanaka)		VU	EN
3	ハヤテグモ	クモ	キンダグモ	<i>Perenethis fascigera</i> (Bösenberg et Strand)			EN

絶滅危惧 II 類 (VU)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	シロオビトリノフンダマシ	クモ	コガネグモ	<i>Cyrtarachne nagasakiensis</i> Strand		NT	VU
2	アカイロトリノフンダマシ	クモ	コガネグモ	<i>Cyrtarachne yunoharuensis</i> Strand		NT	VU
3	トゲグモ	クモ	コガネグモ	<i>Gasteracantha kuhli</i> C. L. Koch		VU	
4	ゲホウグモ	クモ	コガネグモ	<i>Poltys illepidus</i> C. L. Koch		NT	VU
5	エビチャコモリグモ	クモ	コモリグモ	<i>Arctosa ebicha</i> Yaginuma		EN	VU
6	クリチャササグモ	クモ	ササグモ	<i>Oxyopes licenti</i> Schenkel			VU
7	ヤギヌマフクログモ	クモ	フクログモ	<i>Clubiona yaginumai</i> Hayashi			VU
8	オビジガバチグモ	クモ	ネコグモ	<i>Castianeira shaxianensis</i> Gong		VU	VU
9	オビボソカニグモ	クモ	カニグモ	<i>Xysticus trizonatus</i> Ono		VU	VU

準絶滅危惧 (NT)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	ギボシヒメグモ	クモ	ヒメグモ	<i>Chryso albipes</i> (S. Saito)			NT
2	ビジョオニグモ	クモ	コガネグモ	<i>Araneus mitificus</i> (Simon)			NT
3	コガネグモ	クモ	コガネグモ	<i>Argiope amoena</i> L. Koch		NT	NT
4	オオトリノフンダマシ	クモ	コガネグモ	<i>Cyrtarachne akirai</i> Tanikawa		NT	NT
5	トリノフンダマシ	クモ	コガネグモ	<i>Cyrtarachne bufo</i> (Bösenberg et Strand)		NT	NT
6	スズミグモ	クモ	コガネグモ	<i>Cyrtophora ikomosanensis</i> (Bösenberg et Strand)			NT
7	ハマキフクログモ	クモ	フクログモ	<i>Clubiona japonicola</i> Bösenberg et Strand			NT
8	ヒゲナガツヤグモ	クモ	ワシグモ	<i>Micaria dives</i> (Lucas)			NT

情報不足 (DD)

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	チビクロドヨウグモ	クモ	アシナガグモ	<i>Meta nigridorsalis</i> Tanikawa			
2	ムロズミノレグモ	クモ	スオウグモ	<i>Takeoa nishimurai</i> (Yaginuma)		DD	DD
3	シロスジグモ	クモ	カニグモ	<i>Runcinia affinis</i> Simon			DD

⑧ 名古屋市版レッドリスト（カニ類）

目及び科の範囲、名称、配列については、原則として「日本産かに類の分類目録」（三宅，1998）に準拠した。その後の、新しい取り扱いがある場合には、それに従った。

絶滅（EX）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	市2010
(該当種なし)						

絶滅危惧ⅠA類（CR）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	市2010
(該当種なし)						

絶滅危惧ⅠB類（EN）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	市2010
1	ハクセンシオマネキ	十脚	スナガニ	<i>Uca (Celuca) lactea lactea</i> (De Haan)	VU	EN
2	サワガニ	十脚	サワガニ	<i>Geothelphusa dehaani</i> (White)		EN

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	市2010
1	アカテガニ	十脚	イワガニ	<i>Chirromantes haematocheir</i> (De Haan)		VU
2	クシテガニ	十脚	イワガニ	<i>Parasesarma plicatum</i> (Latreille)		VU
3	ユビアカベンケイガニ	十脚	イワガニ	<i>Parasesarma acis</i> Davie		
4	ウモレベンケイガニ	十脚	イワガニ	<i>Clistocoeloma sinensis</i> Shen		VU

準絶滅危惧（NT）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	市2010
1	サメハダヘイケガニ	十脚	ヘイケガニ	<i>Paradorippe granulata</i> (De Haan)		NT
2	モクズガニ	十脚	イワガニ	<i>Eriocheir japonicus</i> (De Haan)		NT
3	コメツキガニ	十脚	スナガニ	<i>Scopimera globosa</i> De Haan		NT
4	チゴガニ	十脚	スナガニ	<i>Ilyoplax pusilla</i> (De Haan)		NT

情報不足（DD）

No.	種名	目名	科名	学名	国2014	市2010
(該当種なし)						

県版ではカニ類は調査対象外となっている。

⑨ 名古屋市版レッドリスト (貝類)

目及び科の範囲、名称、配列については、原則として「日本産野生生物目録 ー本邦産野生動物の種の現状ー (無脊椎動物Ⅲ)」(環境庁(編), 1998)に準拠した。

絶滅 (EX)

No.	区分	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	淡水	カワネジガイ	基眼 (モノアラガイ)	ヒラマキガイ	<i>Camptoceras hirasei</i> Walker	CR+EN	EX	EX
2	汽水	ハイガイ	フネガイ	フネガイ	<i>Tegillarca granosa</i> (Linnaeus)	VU	EX	EX
3	汽水	イチョウシラトリ	マルスダレガイ	ニッコウガイ	<i>Tellina (Serratina) capsoides</i> Lamarck	CR+EN	EX	EX
4	汽水	アゲマキ	マルスダレガイ	ナタマメガイ	<i>Sinonovacula lamarcki</i> Huber	CR+EN	EX	EX

絶滅危惧 I A類 (CR)

No.	区分	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	汽水	イボキサゴ	古腹足 (オキナエビス)	ニシキウズ	<i>Umbonium (Suchium) moniliferum</i> (Lamarck)	NT	CR	CR
2	淡水	マルタニシ	盤足(ニナ)	タニシ	<i>Cipangopaludina chinensis laeta</i> (Martens)	VU	NT	CR
3	淡水	マメタニシ	盤足(ニナ)	エゾマメタニシ	<i>Parafossarulus mauchuricus japonicus</i> (Pilsbry)	VU	DD	CR
4	汽水	サザナミツボ	盤足(ニナ)	サザナミツボ	<i>Elachisime ziczac</i> Fukuda et Ekawa	NT	EN	CR
5	汽水	ヨシダカワザンショウ	盤足(ニナ)	カワザン ショウガイ	<i>Angustassiminea yoshidayukioi</i> Kuroda	NT	VU	CR
6	汽水	ウミニナ	盤足(ニナ)	ウミニナ	<i>Batillaria multiformis</i> (Lischke)	NT	NT	CR
7	汽水	イボウミニナ	盤足(ニナ)	ウミニナ	<i>Batillaria zonalis</i> (Bruguere)	VU	CR	CR
8	汽水	ヘナタリ	盤足(ニナ)	フトヘナタリ	<i>Cerithidea (Cerithideopsilla) cingulata</i> (Gmelin)	NT	NT	CR
9	汽水	カワアイ	盤足(ニナ)	フトヘナタリ	<i>Cerithidea (Cerithideopsilla) djadjariensis</i> (K. Martin)	VU	CR	CR
10	汽水	タクミニナ	異旋	タクミニナ	<i>Eucharilda sinensis</i> (Fischer)		CR	CR
11	汽水	イノチドリ	異旋	イノチドリガイ	<i>Amathina tricarinata</i> (Linnaeus)	CR+EN	CR	CR
12	汽水	キヌカツギ ハマシイノミガイ	基眼 (モノアラガイ)	オカミミガイ	<i>Melampus (Melampus) sincaporensis</i> Pfeiffer	VU	CR	CR
13	汽水	オカミミガイ	基眼 (モノアラガイ)	オカミミガイ	<i>Ellobium chinense</i> (Pfeiffer)	VU	EN	CR
14	汽水	ナラビオカミミガイ	基眼 (モノアラガイ)	オカミミガイ	<i>Auriculastra duplicata</i> (Pfeiffer)	VU	CR	
15	淡水	タガイ	イシガイ	イシガイ	<i>Anodonta japonica</i> Clessin		NT	NT ※1
16	淡水	イシガイ	イシガイ	イシガイ	<i>Unio douglasiae nipponensis</i> (Martens)		CR	CR
17	汽水	マゴコロガイ	マルスダレガイ	カワホトギス	<i>Peregrinamor oshimai</i> Shoji	NT	CR	CR
18	汽水	イセシラガイ	マルスダレガイ	ツキガイ	<i>Anodontia bialata</i> (Pilsbry)	CR+EN	CR	CR
19	汽水	ヤチヨノハナガイ	マルスダレガイ	バカガイ	<i>Raeta pellicula</i> (Deshayes)	CR+EN	CR	CR
20	汽水	アオサギガイ	マルスダレガイ	ニッコウガイ	<i>Psammotreta (Pseudomitis) praeupta</i> (Salisbury)		CR	CR
21	汽水	ハナグモリ	マルスダレガイ	ハナグモリ	<i>Glaucanome chinensis</i> Gray	VU	CR	CR
22	淡水	マシジミ	マルスダレガイ	シジミ	<i>Corbicula leana</i> Prime	VU	VU	VU
23	汽水	ウラカガミ	マルスダレガイ	マルスダレガイ	<i>Dosinorbis (Phacosoma) penicilata</i> (Reeve)	CR+EN	CR	CR
24	汽水	ハマグリ	マルスダレガイ	マルスダレガイ	<i>Meretrix lusoria</i> (Roding)	VU	VU	CR
25	汽水	ヒメマスオガイ	オオノガイ	オオノガイ	<i>Cryptomya busoensis</i> Yokoyama	VU	EN	CR
26	汽水	クシケマスオガイ	オオノガイ	オオノガイ	<i>Venatomya truncata</i> (Gould)	NT	EN	CR
27	汽水	ウミタケ	オオノガイ	ニオガイ	<i>Barnea (Umitakea) japonica</i> (Yokoyama)	VU	CR	CR

絶滅危惧 I B類 (EN)

No.	区分	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	汽水	オリイレボラ	新腹足	コモロガイ	<i>Trigonostoma scalariformis</i> (Lamarck)	VU	EN	EN
2	淡水	モノアラガイ	基眼 (モノアラガイ)	モノアラガイ	<i>Radix auricularia japonica</i> Jay	NT	NT	EN
3	陸	ナミギセル	柄眼 (マイマイ)	キセルガイ	<i>Stereophaedusa japonica japonica</i> (Crosse)			EN
4	陸	ナガオカモノアラガイ	柄眼 (マイマイ)	オカ モノアラガイ	<i>Oxyloma hirasei</i> (Pilsbry)	NT	NT	EN
5	陸	ヒルゲンドルフマイマイ	柄眼 (マイマイ)	オナジマイマイ	<i>Trishoplita hilgendorfi</i> (Kobelt)	NT	NT	EN
6	淡水	ヌマガイ	イシガイ	イシガイ	<i>Anodonta lauta</i> Martens		NT	NT ※2
7	汽水	サビシラトリ	マルスダレガイ	ニッコウガイ	<i>Macoma contabulata</i> (Deshayes)	NT	EN	EN
8	淡水	ウエジマメシジミ	マルスダレガイ	シジミ	<i>Pisidium (Odhneripisidium) uejii</i> Mori			

リ
レ
ス
ト

絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

No.	区分	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	汽水	ヒロクチカノコ	アマオブネガイ	アマオブネガイ	<i>Neripteron</i> sp.	NT	VU	VU
2	淡水	オオタニシ	盤足(二ナ)	タニシ	<i>Cipangopaludina japonica</i> (Martens)	NT	国リスト	NT
3	汽水	ワカウラツボ	盤足(二ナ)	ワカウラツボ	<i>Iravadia (Fairbankia) sakaguchii</i> (Kuroda et Habe)	VU	VU	VU
4	汽水	フトヘナタリ	盤足(二ナ)	フトヘナタリ	<i>Cerithidea (Cerithidea) rhizophorum</i> A. Adams	NT	NT	VU
5	汽水	ムシロガイ	新腹足	オリレヨウバイ	<i>Niotha livescens</i> (Philippi)	NT	VU	VU
6	汽水	ヌカルミクチキレ (未記載種)	異旋	トウガタガイ	<i>Seyella</i> sp.	NT	VU	VU
7	陸	ヒゼンキビ	柄眼 (マイマイ)	ベッコウ マイマイ	<i>Parakaliella hizenensis</i> (Pilsbry)	NT	DD	
8	陸	ビロウドマイマイ属の一種	柄眼 (マイマイ)	ナンバン マイマイ	<i>Nipponochloritis</i> sp.			※3
9	汽水	イオスダレガイ	マルスダレガイ	マルスダレガイ	<i>Paphia (Neotapes) undulata</i> (Born)		VU	VU

準絶滅危惧 (NT)

No.	区分	種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	陸	ヤマタニシ	盤足(二ナ)	ヤマタニシ	<i>Cyclophorus herklotsi</i> Martens			
2	陸	ミジンヤマタニシ	盤足(二ナ)	ヤマタニシ	<i>Nakadaella micron</i> (Pilsbry)			
3	陸	ヒダリマキゴマガイ	盤足(二ナ)	ゴマガイ	<i>Diplommantina (Sinica) pusilla</i> (Martens)			
4	汽水	カワグチツボ	盤足(二ナ)	ワカウラツボ	<i>Iravadia (Fluviocingula) elegantula</i> (A. Adams)	NT	NT	NT
5	汽水	エドガワミズゴマツボ	盤足(二ナ)	ミズゴマツボ	<i>Stenothyra edogawaensis</i> (Yokoyama)	NT	NT	NT
6	汽水	クリイロ カワザンシヨウ	盤足(二ナ)	カワザン ショウガイ	<i>Angustassiminea castanea</i> (Westerlund)	NT	NT	NT
7	汽水	ツブカワザンシヨウ	盤足(二ナ)	カワザン ショウガイ	<i>Assiminea estuarina</i> Habe	NT	NT	NT
8	汽水	ヒナタムシヤドリ カワザンシヨウ	盤足(二ナ)	カワザンシヨウガイ	<i>Assiminea parasitologica</i> Kuroda	NT	NT	NT ※4
9	汽水	セキモリ	翼舌	イトカケガイ	<i>Papyriscala yokoyamai</i> (Suzuki et Ichikawa)	NT	NT	NT
10	汽水	クレハガイ	翼舌	イトカケガイ	<i>Papyriscala latifasciata</i> (Sowerby)	NT	NT	NT
11	汽水	カキウラクチキレモドキ	異旋	トウガタガイ	<i>Brachystomia bipyrmidata</i> (Nomura)		NT	
12	淡水	ヒラマキミズマイマイ	基眼 (モノアラガイ)	ヒラマキガイ	<i>Gyraulus chinensis</i> Dunker	DD	DD	
13	淡水	ヒラマキガイモドキ	基眼 (モノアラガイ)	ヒラマキガイ	<i>Polypylis hemisphaerula</i> (Benson)	NT	NT	
14	陸	タワラガイ	柄眼 (マイマイ)	タワラガイ (ネシガイ)	<i>Sinoennea iwakawa</i> (Pilsbry)			
15	陸	ヒメカサキビ	柄眼 (マイマイ)	ベッコウ マイマイ	<i>Trochochlamys subcrenulata</i> (Pilsbry)	NT	NT	
16	陸	ウメムラシタラガイ	柄眼 (マイマイ)	ベッコウ マイマイ	<i>Coneuplecta (Sitalina) japonica</i> Habe	NT	NT	
17	陸	ヒラベッコウガイ	柄眼 (マイマイ)	ベッコウ マイマイ	<i>Bekkochlamys micrograpta</i> (Pilsbry)	DD	DD	
18	陸	コベツマイマイ	柄眼 (マイマイ)	ナンバン マイマイ	<i>Satsuma myomphala</i> (Martens)			
19	陸	ニッポンマイマイ	柄眼 (マイマイ)	ナンバン マイマイ	<i>Satsuma japonica</i> (Pfeiffer)			
20	陸	オオケマイマイ	柄眼 (マイマイ)	オナジマイマイ	<i>Aegista vulgivaga</i> (Schmacker et Bottger)			
21	汽水	タイラギ	イガイ	ハボウキガイ	<i>Atrina pictinata</i> (Linnaeus)	NT		NT
22	汽水	ツキガイモドキ	マルスダレガイ	ツキガイ	<i>Lucinoma annulatum</i> (Reeve)		NT	NT
23	汽水	ヒメシラトリ	マルスダレガイ	ニッコウガイ	<i>Macoma incongrua</i> (Martens)			NT
24	汽水	ゴイサギガイ	マルスダレガイ	ニッコウガイ	<i>Macoma tokyoensis</i> Makiyama			NT
25	汽水	ユウシオガイ	マルスダレガイ	ニッコウガイ	<i>Moerella rutila</i> (Dunker)	NT	NT	NT
26	汽水	サクラガイ	マルスダレガイ	ニッコウガイ	<i>Nitidotellina hokkaidoensis</i> (Habe)	NT	NT	NT
27	汽水	イノシジミ	マルスダレガイ	シオサザナミガイ	<i>Nuttallia japonica</i> (Reeve)			
28	汽水	マテガイ	マルスダレガイ	マテガイ	<i>Solen (Solen) gordonis</i> Yokoyama		NT	
29	汽水	ウネナシトマヤガイ	マルスダレガイ	フナガタガイ	<i>Trapezium liratum</i> (Reeve)	NT	国リスト	
30	汽水	オキシジミ	マルスダレガイ	マルスダレガイ	<i>Cyclina sinensis</i> (Gmelin)			
31	汽水	オオノガイ	オオノガイ	オオノガイ	<i>Mya (Arenoma) oonogai</i> Makiyama	NT	NT	NT
32	汽水	ソトオリガイ	ウミタケガイモドキ	オキナガイ	<i>Laternula marilina</i> (Reeve)		NT	NT

情報不足 (DD)

No.	区分種名	目名	科名	学名	国2014	県2015	市2010
1	汽水 ヒナツボ	盤足(ニナ)	シロネズミガイ	<i>Berthais egregia</i> (A. Adams)			DD
2	陸 ミジンマイマイ	柄眼 (マイマイ)	ミジンマイマイ	<i>Vallonia pulchellura</i> (Heude)			DD
3	陸 オオウエキビ	柄眼 (マイマイ)	ベッコウ マイマイ	<i>Trochochlamys fraterna</i> (Pilsbry)	DD	国リスト	

※1 県2015と市2010はタガイとヌマガイの統合評価

※2 県2015と市2010はタガイとヌマガイの統合評価

※3 *N. oscitans* ビロウドマイマイを含む評価

※4 ムシヤドリカワザンショウガイから変更